

2. 事業実施状況

I 公益目的事業1 (公1)

《畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填し、経営の安定を図ることで畜産物の安定供給を推進する事業》

1. 肉用子牛の価格差補填に関する事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度

1) 肉用子牛生産者補給金制度 [農畜産業振興機構・佐賀県・地方競馬全国協会]

12,760,200 円

肉用子牛生産者の経営安定を図るため、肉用子牛価格の低落時に交付する肉用子牛生産者補給金の交付財源となる生産者積立金の造成を行った。

① 基金造成 (12,760,200 円)

生産者補給金の交付財源となる基金造成については、個体登録頭数(平成27年1月～12月)が7,429頭で前年対比98%と全体的に減少となった。

- ・登録頭数 黒毛和種7,319頭、交雑種110頭
- ・基金造成実績 12,760,200 円

・生産者積立造成内訳

(単位：頭、円)

品 種	契約 頭数	積立 単価	積立所要額	負 担 区 分		
				農畜産業 振興機構	佐賀県	契約 生産者
黒毛	3,560	2,200	7,832,000	3,916,000	1,958,000	1,958,000
和種	3,759	1,200	4,510,800	2,255,400	1,127,700	1,127,700
褐毛和種	0	11,900	0	0	0	0
その他の 肉専用種	0	24,400	0	0	0	0
乳用種	0	12,700	0	0	0	0
交雑種	59	5,000	295,000	147,500	73,750	73,750
	51	2,400	122,400	61,200	30,600	30,600
計	7,429	—	12,760,200	6,380,100	3,190,050	

② 補給金交付 (0 円)

四半期において平均売買価格が保証基準価格を下回らなかったため補給金の交付はなかった。

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

[農畜産業振興機構・地方競馬全国協会]

8,763,966 円

① 補給金制度運営適正化推進事業 (6,240,314 円)

肉用子牛生産者補給金制度業務を適正かつ円滑に実施するため事業説明会を開催し、事業の推進を図った。また交付事務処理に関する肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売と保留の確認、契約生産者への調査指導及び事務委託先における受託事務の実施状況に関す

る調査指導を行った。さらに、統一電算事務処理システムによる業務執行状況の報告、肉用子牛取引情報の収集・報告等の業務を行った。

なお、事務委託先及び中央家畜市場へ委託費を交付した。

② 指定協会運営体制支援事業 (2, 523, 652 円)

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を推進するため運営基盤強化を図り、補給金業務の適正実施に努めた。

(2) 肉用牛繁殖経営支援事業 [農畜産業振興機構・地方競馬全国協会]

2, 538, 150 円

子牛価格が発動基準価格を下回った場合に、その差額の一部を補填することで肉用牛繁殖経営基盤の安定を図ることを目的として、その事業を円滑に進めるため推進会議による事業説明や現地指導を実施した。

なお、子牛売買価格が発動基準価格を下回らなかったため支援交付金の交付はなかった。

2. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

[農畜産業振興機構・佐賀県・地方競馬全国協会] 1, 130, 457, 000 円

(1) 肥育牛補填金交付対策 [生産者・佐賀県・農畜産業振興機構]

(1, 121, 736, 000 円)

肉用牛肥育経営の安定のため、肥育牛の枝肉価格が低落する等により、肥育牛1頭当たりの平均粗収益が平均生産費を下回った場合、その差額の8割を肥育牛補填金として交付するとともに、交付財源となる生産者積立金の造成等を行った。

・地域基金造成等内訳

(単位：円)

区分	平成 26 年度分 (H27 年 2 月～3 月)	平成 27 年度分 (H27 年 4 月～28 年 1 月)	合計
基金造成実績	288, 864, 000	832, 872, 000	1, 121, 736, 000
(うち生産者)	(66, 308, 250)	(178, 272, 400)	(244, 580, 650)
(うち県)	(5, 907, 750)	(29, 945, 600)	(35, 853, 350)
(うち機構)	(216, 648, 000)	(624, 654, 000)	(841, 302, 000)
造成頭数	・肉専用種 3, 867 頭 ・交雑種 51 頭 ・乳用種 54 頭	・肉専用種 19, 584 頭 ・交雑種 428 頭 ・乳用種 86 頭	
補填金 交付額	3, 301, 200 ・肉専用種 0 頭 ・交雑種 40 頭 ・乳用種 49 頭	2, 806, 700 ・肉専用種 0 頭 ・交雑種 115 頭 ・乳用種 56 頭	6, 107, 900

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進〔農畜産業振興機構〕 (8,721,000円)

肉用牛肥育経営安定特別対策事業を適正かつ円滑に実施するため推進会議による事業説明会や交付事務処理に関する個体識別及び個体登録、販売の確認及び調査指導、普及・啓発の活動等事業推進に努めた。

なお、事務委託先へ委託費を交付した。

II 公益目的事業2 (公2)

《畜産経営体に対する経営及び生産技術の改善指導を実施する事業》

1. 畜産経営技術高度化推進事業〔佐賀県・地方競馬全国協会〕

3,560,000円

生産性・収益性の高い畜産経営の実現と経営の安定を図るため、畜産の各分野の専門家て構成する専門家支援チームにより畜産農家の経営内容を分析し、直接農家と面談しながら経営並びに生産技術の改善のための経営診断を実施した。

さらに、数か月後に再び農家へ出向いて事後指導を実施し、改善状況の確認や新たな課題に対する助言等を行った。

・経営診断の実施状況

(単位:戸)

団体名		診断 件数	内 訳				
			酪農	繁殖	肥育	養豚	養鶏
佐賀 県 農 協	佐城三神地区畜産事業所	2	0	0	2	0	0
	杵藤地区みどり畜産事業所	8	0	4	4	0	0
	杵藤地区白石畜産事業所	2	0	2	0	0	0
唐津農協		19	4	7	8	0	0
伊万里市農協		19	0	2	17	0	0
JAフーズさが		1	0	0	0	0	1
その他		1	0	0	0	0	1
合 計		52	4	15	31	0	2

・専門家支援チームの活動実績

構成機関団体	活動内容
県畜産課、畜産試験場、農業改良普及センター、家畜保健衛生所、日本政策金融公庫、農業協同組合、畜産指導相談員、佐賀県畜産協会	(1) 診断結果に基づき、畜産農家へ経営・生産技術等の支援、助言指導を行った。 (2) 専門的な分野から飼養管理等の改善を助言した。 (3) 規模拡大、経営転換、後継者育成に伴う生産技術等の助言を行った。

・畜産指導相談員の配置実績

(単位:人、日)

設置期間	助言指導内容	相談員数	相談活動日数
平成27年4月～ 平成28年3月	・経営診断時等に実態に応じた指導及び相談活動を実施した。	4	18

2. 畜産特別資金等推進指導事業 [中央畜産会・地方競馬全国協会]

3,650,000 円

畜産経営の再建を図るため、新たな畜産特別資金借入農家やすでに貸付を受けた畜産農家に対して、経営及び生産技術の改善に向けた経営診断による濃密的な支援指導を行うとともに改善状況調査を実施した。

また、農業改良普及センター等の指導機関や農協等の融資機関等で構成する畜産経営改善指導連絡協議会（全体及び地域）を開催し、関係機関が連携して統一的な畜産農家の経営改善計画の作成指導や経営改善指導を行うとともに、営農指導部門や金融部門等の融資機関である農協内部の連携を推進することにより、効率的な畜産経営の改善に努めた。

さらに、生産技術や経営管理能力の改善を図り畜特資金借入農家を作らない支援を行うために、畜産農家に最も身近な農協等への助言指導を行うことで、畜産農家への支援指導の強化に努めた。

- ・畜産経営改善指導連絡協議会（5回）
- ・畜産経営改善研修会（1回）
- ・融資機関への助言指導等

(単位:回)

融資機関		融資機関指導
佐賀県 農協	酪農指導センター	1
	佐城三神地区畜産事業所	—
	杵藤地区みどり畜産事業所	—
	杵藤地区白石畜産事業所	—
唐津農協		1
伊万里市農協		1
開拓畜産農協		—
合 計		3

- ・経営改善計画達成、作成指導及び計画見直し指導（27戸）

(単位:戸)

区 分		経営改善計画指導				
		作成 指導	見直し 指導	達成指導		
				濃密指導	事後指導	重点農家指導
佐賀県 農協	酪農指導センター	0	2	0	0	2
	佐城三神地区畜産事業所	0	2	0	0	0
	杵藤地区みどり畜産事業所	0	5	0	0	0
	杵藤地区白石畜産事業所	0	0	0	0	0
唐津農協		0	7	4	4	1
伊万里市農協		0	10	4	4	0
開拓畜産農協		0	1	0	0	0
合 計		0	27	8	8	3

Ⅲ 公益目的事業3（公3）

《高能力家畜の導入及び家畜の疾病発生防止対策を徹底するための経費に対して助成を行い生産性の向上を図る事業》

1. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化対策事業）

[農畜産業振興機構・地方競馬全国協会] 12,927,000円

(1) 中核的担い手育成増頭推進

県内の繁殖雌牛頭数の維持・拡大を目的に、優良な繁殖雌牛を増頭する畜産農家に対し増頭奨励金を交付し、肉用牛生産基盤の強化に努めた。

・増頭奨励金交付実績 6,300,000円（20戸、67頭）

(2) 優良繁殖雌牛導入支援

地域の改良基盤を維持するため、農協等が優良繁殖雌牛を導入し、一定期間畜産農家に貸付ける場合に導入奨励金を交付し、肉用牛生産基盤の強化に努めた。

・導入奨励金交付実績 3,890,000円（42戸、82頭）

(3) 肉用牛振興推進指導 (2,737,000円)

事業を円滑に実施するための推進会議、現地調査及び事業の推進指導等を行った。

2. 家畜生産農場清浄化支援対策事業 [農林水産省・地方競馬全国協会]

2,372,082円

家畜生産農場での疾病の発生を予防することで、畜産農家の経営の安定を図るために、清浄化が困難なため全国的な対策が必要となっている慢性疾病に係る検査やとう汰の実施、及び、家畜伝染病予防法に基づく農場の飼養衛生管理対策の推進、さらに家畜伝染性疾病の発生予防・流行防止の支援のために組織的な取り組みによる予防注射の実施等を行った。

(1) 疾病清浄化支援対策事業)

① 疾病清浄化支援対策

清浄化が困難なため畜産経営に影響の大きい慢性疾病のうち、牛ヨーネ病、豚オーエスキ病及び牛白血病に係る防疫対策について、検討会議等を開催し円滑な実施体制を図った。

なお、平成27年度については牛ヨーネ病発生がなかったため、自主とう汰に係る支援金の交付はなかった。また豚オーエスキ病の検査65頭、証明書7件の一部助成を行った。

(2) 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止支援対策

① 農場飼養衛生管理強化対策

家畜伝染病予防法に基づく農場の飼養衛生管理向上を図るため、獣医師による農場指導を実施した。

・実施農場 114農場（牛111農場、鶏3農場）

②疾病流行防止支援対策

県内各地域の家畜自衛防疫団体と共同で実施する、吸血昆虫媒介疾病の予防接種を実施しこれに対し助成を行い疾病の発生予防を図った。

・予防接種実績

(単位:頭、円)

ワクチン	接種頭数	実績額	実績額のうち補助額	協会負担
牛異常産3混	5,027	10,127,628	643,456	9,484,172

(3) 事業推進対策(事務費)

事業の円滑な推進と普及・指導等に努めた。

3. 疾病予防事業(佐賀県家畜防疫対策事業) [地方競馬全国協会・佐賀県畜産協会]

19,339,068円

家畜の伝染性疾病の発生予防と流行防止のため、県内各地域の家畜自衛防疫団体と共同で牛・豚・鶏の家畜伝染性疾病の予防接種を実施し、家畜の損耗防止を図った。

・予防接種実績

(単位:頭、羽、円)

	ワクチン名	接種頭羽数	実績額	備考
牛	イバラキ病	1,692	1,164,384	
	牛5混	2,508	4,328,539	
	牛ヘモフィルス感染症	2,334	1,862,299	
	牛5混・ヘモ混合	4,539	10,707,757	
	牛5混不活化・6混	66	111,537	
豚	豚丹毒(生)	3,873	620,530	
	日脳・豚パルボ	220	168,200	
鶏	ND	251,000	112,434	
	NDIB	263,000	263,388	
	合計	—	19,339,068	

・予防注射事故対策事業(佐賀県畜産協会)

0円

万一の予防注射による家畜の事故が発生した場合に備え、予防注射事故対策要領を設置し当該家畜の所有者に対する支援対策を行っている。平成27年度は、事故の発生がなく、交付実績はなかった。

4. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 [農林水産省・地方競馬全国協会]

4,210,000円

(1) 死亡牛検査処理安定化対策(2,947,500円)

牛海綿状脳症（BSE）の再発防止のため、48ヶ月齢以上の死亡牛が発生した場合に、県が行うBSE検査を実施するとともに、死亡牛の処理を円滑に推進するため、当該家畜の所有者に対し死亡牛処理整理票に基づき県内の死亡牛発生場所から県外の死亡獣畜処理場までの輸送にかかる経費及び死亡牛処理にかかる経費の一部を助成することで経営の安定を図った。（対象：県内で死亡した48ヶ月齢以上の牛）

・死亡牛検査処理安定化対策内訳 (単位:頭、円)

区分	実績頭数	単価	補助金額
処理補助	331	7,500	2,482,500
輸送補助	155	3,000	465,000
合計			2,947,500

(2) 事業推進対策（事務費）(1,262,500円)

事業の円滑な推進と普及・指導等を実施するため、県、生産者団体、死亡獣畜処理業者、輸送業者等で構成する死亡牛適正処理推進協議会を開催した。

5. 家畜防疫互助基金支援事業 [農畜産業振興機構・中央畜産会・地方競馬全国協会]

9,983,565円

(1) 家畜防疫互助事業 (8,862,580円)

口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病が万一発生した場合に、家畜の飼養を中止した農家の経営再開を互助補償し、農家の経営が存続することにより畜産経営の安定を図るため、委託先・生産者への事業加入推進を行い、契約を締結し加入頭数に応じた生産者積立金を徴収した。

なお、平成27年度契約した生産者積立金については中央畜産会で管理している基金へ納入した。

[対象疾病] 口蹄疫・牛疫・牛肺疫・アフリカ豚コレラ・豚コレラ

・平成27年度家畜防疫互助事業加入状況 (単位:戸・頭・羽、円)

区分	牛	豚	※ 鶏	
契約戸数	404	34	契約戸数	55
契約頭数	49,891	61,390	契約羽数	4,473,644
生産者積立金	6,288,505	2,574,075	生産者積立金	
生産者積立金合計	8,862,580			

※鶏については日本養鶏協会が実施している。

対象疾病は高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザである。

(2) 家畜防疫互助推進事業 (1,120,985円)

家畜防疫互助事業を円滑に推進するため、事務委託先、生産者等への指導及び連絡調整を実施した。

なお、事務委託先へ委託費を交付した。

IV その他の事業（相互扶助等事業） 1（他1）

《県内の畜産関連事業組織と連携した県産畜産物の一般消費者への普及啓発並びに畜産振興を推進する事業》

1. 馬事畜産活性化推進助成事業

(1) ・馬事畜産振興推進事業〔馬事畜産振興協議会〕 109,000 円

・佐賀県馬事畜産振興協議会 165,000 円

地方競馬（佐賀競馬場）の支援及び畜産生産物の普及・啓発について、畜産団体等と連携して効果的に推進した。

また、協議会(正会員 5、賛助会員 2)主催による畜産フェアを実施した。

・協議会等の開催（2回）

・畜産フェア（1回）

平成 27 年 10 月 18 日(佐賀県鳥栖市：佐賀競馬場本場)

・中央・地方交流レース観戦（2回）

(2) 畜産振興補助事業〔地方競馬全国協会〕

① 畜産生産性向上促進対策事業

関係機関、関係団体と連携し、生産性の向上に係わる生産技術・衛生対策に関する検討会を開催し、収益性の高い畜産経営の確立に努めた。

② 地域畜産関係情報提供事業

関係機関等が開催するイベント等で畜産フェアを開催し生産状況、または畜産の果たしている役割等の情報を提供し、畜産物の安全・安心への理解と消費拡大を図った。

さらに、ホームページ等を通して、本県畜産物の生産状況や安全性、衛生情報、畜産関連行事・イベント等の情報提供、生産者への関連事業の内容や生産技術の向上に資する情報提供を行った。

③ 地方競馬支援対策事業

佐賀競馬の新規ファン獲得並びに入場者数の増員と地域畜産の振興を目的として、ホームページや情報誌、家畜セリ市名簿等を通して競馬情報を提供し、競馬への関心と理解増進を図った。

さらに、冠競走及び関係者へ畜産物を副賞として授与する他、安全安心な県産畜産物の消費拡大を目的に競馬ファンへのPRのため畜産フェアを開催し、地方競馬と県産畜産物に対する理解を高め、公営競馬の健全な運営と発展を支援した。

また、円滑な支援活動を行うため関係団体との連絡調整会議を開催した。

・冠レースイベント（1回）

・畜産フェアイベント（1回）

・他団体イベントへの協力（1回）

《福岡県畜産協会・長崎県畜産協会・鹿児島県馬事畜産振興協議会畜産フェア》

・中央・地方交流レース観戦（2回）

2. 衛生体制強化基金事業 [中央畜産会]

179,000 円

家畜自衛防疫団体、指定獣医師、県、関係団体等を対象として家畜衛生事業等に関わる説明会を開催し、組織の連携強化に努めた。

また、九州ブロック会議衛生協議会を開催した。

3. 馬飼養衛生管理特別対策事業 [中央畜産会]

350,465 円

多様な飼養目的・飼養形態下にある馬飼養実態を把握し、馬飼養衛生管理の向上を図るため、馬飼養実態調査や馬飼養衛生管理技術講習会等を実施した。

(1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会

開催日および場所：平成 28 年 1 月 18 日（佐賀市） 出席者数：9 名

(2) 飼養衛生管理技術講習会

開催日および場所：平成 28 年 1 月 18 日（佐賀市） 参加者数：26 名

演 題	講 師
①馬の飼養衛生管理基準について	①佐賀県中部家畜保健衛生所 樋口 靖晃 氏
②日常の健康管理と異常の見分け方及びその対策について	②日本中央競馬会 青木 基記 氏

(3) 獣医療実態調査

調査時期：平成 27 年 11 月

調査戸数：7 戸（県内の馬飼養者）

調査内容：衛生管理状況及び伝染病に関する意識調査

4. 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業 [中央畜産会]

229,710 円

競走馬以外（乗用馬等）の馬インフルエンザの発生予防を図るため、馬インフルエンザワクチンの接種を推進し、ワクチン接種に係る経費の一部を助成した。

また、馬伝染性貧血の清浄化の検討、乗用馬や在来馬、愛玩馬及び農用馬等の飼養・衛生状況の実態調査を行った。

・馬インフルエンザワクチン接種推進事業 96,710 円
(ワクチン接種頭数 14 頭：26,040 円)

・馬伝染性貧血検査実施状況、飼養及び衛生状況実態調査 (15 戸) 133,000 円

5. 地域自衛防疫強化特別対策事業 [家畜衛生対策推進協議会]

1,442,000 円

畜産農家における初動防疫が有効に機能する体制を整備するため、地域自衛防疫強化推進のための検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習等を実施した。

・地域自衛防疫強化推進検討会：3 回

・防疫演習：5 回

・飼養衛生管理基準啓発のための資料作成及び配布

6. 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業 [中央畜産会]

670,556 円

農場における農場 HACCP への取り組み状況を調査するとともに、農場での HACCP 構築について定期的に農場指導を実施して、現地での助言・指導により農場 HACCP システム取り組みを支援した。

- ・普及推進協議会開催、地域取組促進活動 4回
- ・構築指導 7回

7. 肉豚の価格差補填に関する事業

養豚経営安定対策事業に係る業務委託 [農畜産業振興機構]

467,300 円

養豚経営の安定を図るため、平均粗収益が平均生産費を下回った場合に補填金を交付する事業の業務委託として、県内生産者及び県内各農協等関係機関へ周知及び事業の適正な実施を図るための推進会議及び説明会を開催し円滑な事業推進を図った。

- ・事業推進会議 1回
- ・説明会 1回

8. 貸付事業等指導事業 [畜産近代化リース協会]

338,000 円

畜産経営の近代化・合理化のため、施設や機械等をリースにより導入した農家を対象に施設や機械の確認及び管理状況についての調査及び適正な利用についての技術指導等を行った。また、リース機械・施設の利用拡大を図るため、説明会の開催や家畜市場等での周知業務により新規開拓の推進を行った。

- ・貸付機械（飼料生産・畜産環境改善等）の調査及び技術指導

調査場所		調査基数	調査日数
佐賀県農協	佐城三神地区畜産事業所	14	2
	杵藤地区みどり畜産事業所	1	1
	杵藤地区白石畜産事業所	3	1
唐津農協		5	2
開拓畜産農協		3	1
合計		26	7

9. 県産畜産物ブランド確立対策事業（畜産振興補助事業） [地方競馬全国協会]

県産畜産物ブランドの生産基盤を確立するため、農協等が主催する家畜の改良、生産技術等を比較検討する共励会等を支援し、安全・安心で高品質な県産畜産物を安定的に供給することで、地域畜産の活性化を図った。

10. 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業 [中央畜産会]

485,600円

肉用牛農家の経営・生産技術の改善と畜産基盤維持を図るため、肉用牛肥育・繁殖農家に対し、経営技術情報の調査、個別支援・集団支援を実施し、技術面の改善支援を行った。

- ・経営・技術情報の調査 (25戸)
- ・個別支援の実施 (3戸)
- ・集団支援の実施 (2回)

11. 国産畜産物安心確保等支援事業

(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業) [中央畜産会]

- ・事業実施なし

12. 消費・安全対策交付金事業 [佐賀県]

豚流行性下痢 (PED) のウィルス拡散防止を図るため、農場、と畜場等家畜の集合施設の出入り口における消毒に係る経費を一部負担した事業の管理指導を行った。

13. 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査 [中央畜産会]

608,820円

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために、県内の先進的な経営体等を対象に、中央畜産会が指定する調査票に沿って、飼養管理内容や生産技術等の経営内容の調査を行った。

- ・調査戸数 4戸 (繁殖経営2戸、肥育経営2戸)

14. 多様な担い手育成支援事業 [中央畜産会]

260,000円

肉用牛生産では、新規就農者や後継者の確保など次代を担う経営者の育成が将来に亘る肉用牛生産基盤の維持・強化にとって重要な課題となっており、後継者層等が経営技術を向上するために研修会等を実施し、新たな担い手の確保に資するとともに、県内外の肉用牛経営の担い手の交流ネットワークの構築を推進した。

- ・研修会開催回数 4回 (2グループ)

15. 畜産経営における女子力発揮推進事業 [中央畜産会]

495,150円

畜産を核とした地域活性化には、特に若い女性が積極的に畜産業に携わり、生産振興をけん引できるような高い意識を持つことが重要であり、将来の地域リーダー候補となる女性を参集し、女子力を十分発揮して経営判断等に参画するためのキャリアアップ等に関する意見交換、勉強会等を行い県内の女性リーダーの育成を図るとともに、他県の女性グループとの交流会を開催し県内外に交流の輪を広げる取組を行った。

- ・交流会開催回数 2回

16. 畜産経営における障がい者の参画推進支援事業 [畜産経営支援協議会]

376,000 円

畜産現場における障がい者の参画実態と参画を推進するための課題等を明らかにするため、県内の特別支援学校及び畜産農家等における障がい者支援の取組や課題等に関するアンケート調査を行った。

- ・調査件数 17 か所 (特別支援学校 7 校、畜産農家等 10 戸)

17. 豚流行性下痢 (PED) まん延防止体制支援強化事業 [中央畜産会]

247,000 円

国の豚流行性下痢 (PED) 防疫マニュアル、飼養衛生基準に基づいた地域防疫計画を作成し農場の繁殖豚を対象に獣医師による衛生管理点検を行った。

- ・地域防疫対策会議開催 1 回
- ・指導農家戸数 4 戸

V その他の事業 (相互扶助等事業) 2 (他 2)

≪畜産関連事業を実施する団体への支援事業≫

1. 任意組織事務受託事業

佐賀県養蜂協同組合、佐賀県養鶏協会、佐賀県養豚協会の事務委託を受け、各種事業の推進に努めた。

VI 法人業務

1. 畜産関係団体調整機能強化事業 [中央畜産会]

250,000 円

畜産関係団体の連携及び活性化を図り、地方競馬開催の支援促進等を行い、本県畜産の振興に努めた。

2. 各種委託事業の実施

中央団体、金融機関等からの調査依頼等の各種事業を実施した。

3. 会員団体等の諸事業に対する協力

(1) 本協会会員、市町、JAその他各種団体が実施する事業について、これら団体の要請に応じて協力した。

(2) 畜産に関する資料・書籍等の斡旋のほか、講習・研修会等を実施した。